

● 草の根パートナー型

平成17年度第1回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	モンゴル
2. 事業名	モンゴル国獣医サービス提供システム再構築プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>モンゴルでは社会主義時代には国の指導・支援により家畜の寄生虫予防が行われていたが、1991年の市場経済体制移行により、家畜の私有化、獣医機関の民営化、寄生虫予防の有料化等が導入され、寄生虫対策は牧民の自由意志によることとなった。家畜に対して寄生虫対策を怠ると、原皮の大部分がダメージを受けることとなるが、こうした傷は加工段階において初めて明らかになるため、原皮を購入する段階においては質の良し悪しの区別ができない。従って原皮の購入者は、すべての皮を、寄生虫対策を行っていない質の低いものとみなして低い価格で購入することとなり、これによって、ほとんどの牧民は寄生虫対策を行うインセンティブを失ってしまった。こうして、モンゴル国内のあらゆる家畜の皮の質が低下してしまったため、モンゴルの皮革工場では良質の皮革原料を国内において確保することができず、鞣し革を海外から輸入せざるを得ない状況にある。</p> <p>牧民を組織化して寄生虫対策を効率的・効果的に行うとともに、それと皮革加工会社による原皮の購入契約をリンクさせることにより、牧民の所得を向上させ、モンゴル国内の皮革原料の自給率を高めること期待できる。</p>
4. 事業の目的	モンゴルにおける獣医サービス提供システムを再構築することにより、牧民の家畜の原皮販売価格を上昇させ彼らの収入を向上させ、モンゴル国内のなめし皮の自給率を高める。
5. 対象地域	ウムヌゴビ県バヤンダライ郡 (11,000km <sup>2</sup> )
6. 受益者層	バヤンダライ郡の全牧民世帯の80% (約400戸、1,000人)
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 牧民による会議を開催し、既存の牧民グループとの意見交換会を行うことにより、獣医サービスを効率的に行うための牧民グループが各バグ(村)あるいはその下のレベルにおいて形成される。</li> <li>● 投薬による寄生虫対策を行う。郡全体において寄生虫対策の投薬、対策の効果のモニタリング、測定などの作業を実施できる体制が構築される。</li> <li>● 皮の保存方法に関するパンフレットを作成し、牧民に対するデモンストレーションを開催することにより、牧民が原皮の適切な保存方法を習得する。</li> <li>● 皮加工会社と牧民グループとの契約を仲介し、売買のモニタリングを行うことにより、原皮の販売ネットワークが構築される。</li> </ul>
8. 実施期間	2006年2月～2009年1月 (3年間)
9. 事業費	第一年度契約金額：4,848千円 第二年度契約金額：14,784千円
10. 事業の実施体制	有限会社アイエムジーが本プロジェクト全般の管理を行う一方、現地における日常的な運営については、モンゴルにおける遊牧民の組織化、食肉加工、井戸掘削の経験をもつNGO「21世紀遊牧社会センター」が、モンゴル国立農業大学獣医学研究所、ウムヌゴビ県バヤンダライ郡の行政、地元の獣医と共同で実施する。プロジェクト期間終了後には、同郡が独自に本プロジェクトを継続できるようにする。
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名	有限会社アイエムジー
2. 活動内容	途上国の発展に寄与することを目的として設立され、開発政策立案、社会分析、組織・制度分析、参加型開発を専門とするコンサルタント会社。モンゴルでは、マイクロファイナンス、井戸掘削、食肉流通などのプロジェクトを手がけた実績を有する。